

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富田林ファッションモール	階数	地上2F
建設地	富田林市中野町西二丁目93-1ほか	構造	S造
用途地域	指定なし 法22条	平均居住人員	594 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2017年4月14日
敷地面積	5,216 m ²	作成者	ヨシカワ建築企画 吉川 勝
建築面積	1,375 m ²	確認日	
延床面積	2,735 m ²	確認者	

本図をクリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 85%
 ③上記+②以外の 85%
 ④上記+ 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 地区施設を適正に整備し後背地を含めた一体的な土地利用を行うことにより、周辺の住環境、営農環境及び公共施設等と調和した良好な都市環境を形成します。	その他 敷地北側に緑道、緑地を設け整備します。 雨水の流出抑制のために透水施設を整備します。	
Q1 室内環境 耐UV7デッドの対策として対象外またはF☆☆☆☆以上を使用します。 耐UV7デッド以外についてはVOCの放散量が少ない材料を使用します。 全館の禁煙を実施します。	Q2 サービス性能 売場の面積が広いため天井の高さを3.8m以上とし開放性を確保しました。	Q3 室外環境(敷地内) 貴重な動植物は現地踏査をしましたが認められませんでした。 周辺への環境に配慮し敷地面積の20%の緑地を確保します。
LR1 エネルギー 空調機、照明器具は省エネの機器を使用します。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を使用します。 また、発泡材を用いた断切材は使用していません。	LR3 敷地外環境 貴重な動植物は現地踏査をしましたが認められませんでした。 周辺への環境に配慮し敷地面積の20%の緑地を確保します。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0011

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	富田林ファッションモール					
		建設地	大阪府富田林市中野町西二丁目93-1ほか18筆					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	3			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.0				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4				
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		空調機をインバーター仕様にしたり照明器具はLED照明を多用し設備システムを高効率化しています。						